

New Products & Information 2010

ご注意:表示価格は税別価格です。

机太郎ドライラボにウェットラボが新登場

—新時代の白内障手術トレーニングツール—
高度手術技術・情報開示・医療訴訟…人眼で経験を積む時代ではありません!!

KITARO DryLab & WetLab
机太郎ドライラボ&ウェットラボ

机太郎ドライラボ



自宅や医局の机の上で、CCCと、核分割や切開などの基本器具操作を学ぶ、教える。

机太郎ウェットラボ



人眼に酷似した手術シミュレーションで、マシン操作を学ぶ、教える。

2つの机太郎で、スマートに学ぶ、教える。

世界の学会が「机太郎」を高く評価しました。
2009年 ドイツ国際眼科手術会議 Film Festival 3位
2009年 ヨーロッパ白内障屈折手術学会 Video Competition グランプリ
2010年 日本眼科手術学会 Ophthalmic Surgery Film Award 金賞

開発者: 船橋洋介、キランボカレ

HS 9905	机太郎ドライラボ	¥58,000
HS 9905A1	9905用前囊フィルム	¥8,000
HS 9905A2	9905用眼球部	¥20,000
HS 9905A3	9905用ドライラボ後囊カップ	¥10,000
HS 9905A4	9905用小麦粘土	OPEN
HP 9905A5	9905用切開練習用強角膜シート片	¥3,000
HP 9905A6	9905用プラスチック分割核(3種)とケース	¥5,000
HP 9905A7	9905用ポリマークレイ核(3個)	¥2,500
HP 9905B	白内障手術の達人になる本	¥9,800
HS 9905C	机太郎ウェットラボ	¥58,000
HS 9905C1	人工白内障水晶体5個パック(ドレインバッグ1個付)	¥8,000
HS 9905C2	人工白内障水晶体20個パック(ドレインバッグ4個付)	¥24,000
HS 9905C3	ウェットラボ用角膜虹彩部・4個入パック	¥16,000
HS 9905C4	ドレインフレーム	¥1,000

※ウェットラボには別売:9905C1(または9905C2)が必要です。
※ドライラボのアップグレードには9905C1(またはC2)・C3・C4が必要です。
※価格が変更になりました。ご注意ください。

- 前囊フィルム** CCC
厚さ5µmの特殊二層構造のポリエステルフィルムにより、人眼そっくりのCCCが再現されます。机の上での繰り返し練習でCCCがマスターできます。
- プラスチック分割核** 基本器具操作、3種類の核分割手技
Divide & Conquer, Stop & Chop, Phaco Chop法の3種類の模擬核を、模擬器具を使って分割したり回転させたりして、基本器具操作と核分割手技を学びます。
- ポリマークレイ核** Phaco Chop法、Prechop法
実際に刺したり割ったりが行える特殊な樹脂粘土製の模擬核で、Prechop法やPhaco Chop法の練習に最適です。この核は分割した後に指の中でこねて再生して使えます。
- 強角膜シート** 自己閉鎖創作製・縫合
人眼強角膜と類似のナイフの切れ方を示す特殊樹脂製シートで、自己閉鎖創作製や縫合の練習を行います。
- 眼球可動装置とマスク** リアルな手術感覚
器具操作による眼球運動の発生や、眼瞼からの抵抗により、人眼手術に近いリアルな手術感覚が再現されます。

+

プラス

KITARO WetLab 机太郎ウェットラボ

- ・ 膝眼ウェットラボを超えた人眼に酷似した手術シミュレーションが行えるツール。
- ・ 模擬器具から排液システムまで備えたスマートなツール。

- 人工白内障水晶体** あらゆるフェイク手技と合併症処理
机太郎ウェットラボの人工白内障水晶体は、高品質な核と皮質と前囊と後囊をもっています。そして核は、柔らかい、中等度、硬いと3種類の硬度が体験できます。CCC、あらゆる核分分手技、IOL挿入に至るまで、超音波手術の練習が人眼に酷似した感覚で行えます。また、後囊破損や核落下も発生し、合併症処理の練習も行えます。
- 人工角膜** 自己閉鎖創、AK (LRJ)、縫合
中央500µm、周辺700µmの人眼と同じサイズ、同じ柔らかさの人工角膜により、リアルな器具操作が再現されます。また、自己閉鎖創作製やAK、LRJ、縫合の練習も行えます。

◎ 机太郎は、革命的白内障手術教育訓練システム

Step 1

机太郎ドライラボで器具操作を学ぶ

Step 2

机太郎ウェットラボで器具操作を学ぶ

Step 3

人眼手術

初心者にとって、ウェットラボで手で行う器具操作と足(フットスイッチ)で行う器械操作を同時に学ぶのは困難です。超音波白内障手術の教育は、最初に「机太郎ドライラボ」で器具操作を学び、次に「机太郎ウェットラボ」で器械操作を学び、最後に「人眼手術」に進むと後者のスピードが上達できます。

また、机太郎には模擬器具から排液バッグ・排液システムまで備わっており、何のわずらわしい準備もありません。

従来のドライラボ機能(1~5)に、6:人工白内障水晶体、7:人工角膜を追加。

これで、疑似白内障をより実践に近い形で行えます。